

第1号報告

令和6年度 事業計画

1. 通常総会

令和6年(2024年)5月24日(金)アルカディア市ヶ谷において、第65回通常総会を開催する。

2. 理事会

理事会は原則として年6回以上開催する。

3. 委員会

[常設委員会]

常設委員会は以下のとおりで、委員会は必要に応じてその都度開催する。

- ・ 総務委員会
- ・ プレストレストコンクリート工学会賞選考委員会
- ・ 会誌編集委員会
- ・ ナショナルレポート編集委員会
- ・ シンポジウム実行委員会
- ・ PCアーカイブス委員会
- ・ PC技術規準委員会
- ・ PC鋼材委員会
- ・ 公募研究委員会
- ・ PC技術講習会委員会
- ・ PC技士委員会
- ・ コンクリート構造診断士委員会
- ・ 国際委員会

4. 調査・研究・資料収集事業

(1) 規準作成

1) PC技術規準委員会

委員会を2回、幹事会を4回開催し、講習会開催方法の検討や、本委員会所管の小委員会の運営管理を行うとともに、新たな規準作成小委員会の立ち上げなどについて検討を行う。規準作成に関して、「PC構造物の3次元解析による部材設計ガイドライン作成小委員会」は、近年増加する有限要素法(FEM)や温度応力解析など複雑化する部材設計手法に対して、標準的な設計手法を整備しガイドラインを作成するための検討を行う。また、「PC技術を用いた構造物の低炭素社会への貢献に関する検討小委員会」では、人類全体の問題であるカーボンニュートラル社会への貢献を目的として、PC構造物のライフサイクルでのCO₂排出量を極力減らすための方策を検討するとともに、その排出量自体の算出方法に関してP

C工学会としての指針を示し、今後のカーボンニュートラル社会への貢献を検討する。

2) P C鋼材委員会

P C鋼材に関連する国内外の基規準類の改定、CO₂削減や低炭素化に関する取り組み、風力発電など再生可能エネルギー分野におけるP C構造物の活用等について情報収集を行い、国内外の学会・委員会等に参画する委員からの情報提供に基づき、基規準類への本委員会意見の反映を図る。また、欧州や米国をはじめとするP C技術の先進国において基規準類の整備、管理強化等の様々な施策が実施されている中で、グラウトされたP Cケーブルの耐久性の確保が課題となっている。国内も同様であり、既設P C構造物の保全や長寿命化が喫緊の課題である。そこで、本委員会では特に、過去のP C鋼材規格、仕様、技術開発、施工方法に焦点をあてて情報収集を行い、P Cケーブルの品質向上や品質確保に関して討議を行う。

(2) 公募研究

1) 洋上風力発電に用いるプレストレストコンクリート製浮体の実施検討委員会

令和5年3月に国土交通省よりコンクリート製浮体式洋上風力発電施設的设计施工ガイドラインが公表されたが、実際にコンクリート製浮体を実現するためには、その製造システムおよび製品やパーツの供給体制などの技術的、社会的課題がある。本委員会では国内外の関連する案件の技術調査と必要な試算を行い、解決すべき課題を明らかにすることを目的とし、活動を行う予定である。

2) 「歴史的にみたプレストレストコンクリート建築と技術」続編 編集委員会

2000年以降、P C建築を紹介する刊行物が少なく、設計者・施工者・専門業者へのP C建築物の設計や施工に関する技術の伝承が滞っている。そこで、本委員会にて、1955年以降の告示変遷・代表的P C建築物・技術などについてまとめるとともに、2000年以降の代表的なP C建築物の紹介を行う刊行物の発刊を目的として検討を行う予定である。

(3) 受託研究

1) 既設ポストテンション橋のP C鋼材調査および補修・補強指針（案）改訂小委員会

本学会では、「既設ポストテンション橋のP Cグラウト問題対応委員会（委員長 宮川豊章）」（平成24～28年3月）において、その技術水準レベルを明確に示し、P Cグラウト充填調査方法、P C鋼材破断調査方法、P Cグラウト再注入工法について「既設ポストテンション橋のP C鋼材調査および補修・補強指針（案）」（平成28年9月）を制定した。その後、実橋での環境・P Cグラウト充填状況等の調査も進み、P C鋼材腐食促進試験等も実施され、P Cグラウト再注入工法も、各社から提案され、実施工が始まったところである。そこで、実橋のP C鋼材の状態やP Cグラウト充填状況を考慮したP Cグラウト調査やP C鋼材破断調査箇所の選定方法、P Cグラウト再注入工法における品質保証方法等について、統一的な指針の制定が望まれることから、本小委員会を組織し、本指針（案）改訂版を発刊することを目的として、検討を行う予定である。

(4) 国際活動

1) *fib* 関連活動

- ① *fib* の総会に参加し、*fib* の公式会員組織としての投票権を行使するとともに、行事の企画、運営、調査研究活動に参画する。
- ② *fib* の理事会、**Presidium** に参加し、運営に参画する。
- ③ *fib* シンポジウムに参加し、国際的な情報発信、情報収集を行う。
- ④ *fib* の各種委員会（**Commission**ならびにそれらの下の**TaskGroup**など）に参加し、調査研究活動に参画するとともに、本学会員への情報提供を行う。
- ⑤ *fib* コングレス2030の日本開催に対して、日本コンクリート工学会（**J C I**）と合同の準備委員会を組織し、開催準備に関する検討を行う。

2) 国際的な情報発信

- ① P C 工学会英文ホームページの更新を定期的に行う。
- ② 規準類の英語化ならびに海外への普及についての検討を行う。

3) 会員への国際情報の提供

- ① P C 技術講習会の国際関係のテキスト執筆と講演を行う。
- ② P C シンポジウムにおける海外からの特別講演の準備、運営を行う。

4) 国際交流

- ① P C シンポジウムにおける海外からの特別講演者によるセミナーの企画・開催を行う。
- ② 海外学協会との交流、連携を推進する。

(5) 資料収集

1) P C アーカイブス委員会

本工学会ホームページ「アーカイブス」に新たに追加した、会員特典コーナー、アーカイブ的資料閲覧コーナー、検索システム、アーカイブ的情報提供などのシステム監修を行い、改修、改良を検討する。収集データの追加やメンテナンスは継続的に行っていく。P C 技術講習会題目 P C アーカイブの原稿執筆と講演を行う。名誉会員へのインタビューを実施し、原稿作成、会誌投稿の企画を順次進めていくため、委員会1回、幹事会4回および各WGを合計6回程度開催する予定である。

5. 会誌等発刊事業

(1) 会誌

会誌は一般号および特定課題による特集号を、会誌編集委員会にて企画・編集を行い、計年6回発行する。第66巻4号、6号、第67巻2号は特集号とする。66巻4号は「建築特集」とする。

(2) ナショナルレポート

2026年3月にアブダビ（UAE）で開催される第7回fibコンGRESSに向けて、日本を代表するコンクリート構造物を広く海外へ紹介するための「National Report of Japan on Structural Concrete -The 7th International fib Congress 2026」をJCIと共同で編集するため、ナショナルレポート編集委員会を開催する。

6. 講習会等事業

(1) PC技術講習会

第51回PC技術講習会は、昨年に引き続きオンライン（オンデマンド動画配信）で令和6年6月3日（月）～6月24日（月）の期間、開催する予定である。

(2) プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム

「第33回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」は、令和6年10月17日（木）・18日（金）の2日間にわたり、「朱鷺メッセ」（新潟県新潟市）において開催する。実行委員会および各WGは、開催の準備、運営を行う。

その後、第34回シンポジウムは「フェニックス・プラザ」（福井県福井市）において令和7年10月23日（木）・24日（金）に開催する予定であり、その企画を行う。

また、令和8年に開催を予定する第35回シンポジウムの開催場所について、シンポジウム実行委員会を選定する。

7. 資格認定事業

(1) プレストレストコンクリート技士資格制度

PC技士委員会、各小委員会を開催して、講習会、試験から登録、研修に至るまでの諸準備を行う。

1) プレストレストコンクリート技士試験講習会

標記講習会を令和6年9月2日（月）から9月17日（火）までの期間、オンライン（オンデマンド動画配信）にて開催する。

2) プレストレストコンクリート技士試験

標記試験を令和6年10月20日（日）に東京：芝浦工業大学（豊洲キャンパス）、大阪：YMCA国際文化センター、福岡：天神ビルの3会場において実施する。

3) プレストレストコンクリート技士の登録

プレストレストコンクリート技士試験合格者の登録、ならびに登録有効期間（4年間）満了となる資格者の申請により登録更新を行う。また、登録失効者に対しては、講習会の受講によって再登録を行う。

(2) コンクリート構造診断士資格制度

コンクリート構造診断士委員会，各小委員会を開催して，講習会，試験から登録，研修に至るまでの諸準備を行う。

1) コンクリート構造診断技術講習（eラーニング）

コンクリート構造診断士試験に先立ち，Web上でのeラーニング講習（任意）を行う。eラーニングでの講習期間は，令和6年3月1日から7月12日である。

2) コンクリート構造診断士試験

標記試験を令和6年7月14日（日）に東京：芝浦工業大学（豊洲キャンパス），大阪：YMC A国際文化センター，福岡：天神ビルの3会場において実施する。

3) コンクリート構造診断士の登録

コンクリート構造診断士試験合格者および資格更新者の登録を行う。令和6年度は，令和2年度（2020年度）登録者の資格更新研修を実施する。研修方法は，Web上でのeラーニング講習を行う。

8. 表彰事業

(1) プレストレストコンクリート工学会賞授与

プレストレストコンクリート工学会賞選考委員会にて，論文賞，作品賞，技術開発賞および施工技術賞の授賞候補を募集，選考し，通常総会にて授与する。

(2) シンポジウム優秀講演賞授与

シンポジウムの講演の中から特に優れた講演に対し，シンポジウム実行委員会にて候補者を選考し，シンポジウム閉会式にて授与する。

(3) シンポジウムポスター表彰

シンポジウムの参加者を広く募集するための広報活動に活用することを目的として，シンポジウム実行委員会にてポスターを募集，選考し，表彰する。